

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京都式「教育DX」推進事業費		新規・継続の別		一部新規	
	784,137千円 (うち2月補正151,000千円) <債務負担行為32,000千円>	国庫	起債	その他	一般財源	
予算額		170,500	—	—	613,637	
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 目的 児童生徒や学校がICTの利活用を効果的に進めることができる環境を整え、誰一人取り残すことのない一人一人に応じた最適な学びの実現など、時代に対応した教育の確立を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>■ <u>スマートスクール推進事業費 748,137千円</u></p> <p>(1) タブレット端末の購入支援 新規 学校等での教育活動で活用するために、保護者が端末を購入する経費に対して補助(※)を実施 ※端末本体費用の2/3：上限2万円（年収約472万円未満の世帯） " 1/3：上限1万円（上記以外の世帯）</p> <p>(2) 「デジタル学習支援センター（仮称）」の設置（一部2月補正） ① デジタルコンテンツの配信、ICTを活用した学習支援等 新規 ② 学校等でのICT利活用を先導的に進めるリーダー教員の育成</p> <p>(3) 情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置 新規 府立学校におけるICT機器の日常的な操作支援等を担う外部人材の配置により、ICT利活用推進のための体制を整備</p> <p>(4) 府立学校教員用タブレット端末の整備等 教員用タブレット端末の整備や、端末・ネットワークの運用管理、保守、点検等を実施</p> <p>■ <u>次世代型学力・学習状況調査研究事業費 36,000千円</u> 府学力診断テストをCBT化するとともに、児童生徒一人一人の学力の伸びが把握可能になるIRTの手法及びパネルデータの活用により、学力向上に繋げる実証研究を実施 【詳細：資料-2】</p>					
	担当課名	学校教育課 高校教育課 ICT教育推進課	指導第1係 振興係 企画係	電話番号	775-414-5833 775-414-5815 775-414-5692	

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	次世代型学力・学習状況調査研究事業費	新規・継続の別		継続	
		国庫	起債	その他	一般財源
予算額	36,000千円 〈債務負担行為32,000千円〉	—	—	—	36,000
事業内容	<p>1 目的 府学力診断テストをCBT^(※1)化するとともに、児童生徒一人一人の学力の伸びが把握可能になるIRT^(※2)の手法やパネルデータ^(※3)の活用により、学力向上に繋げる実証研究を実施する。</p> <p>※1 <u>C</u>omputer <u>B</u>ased <u>T</u>esting： コンピュータやタブレットを用いて行うテスト方式</p> <p>※2 <u>I</u>tem <u>R</u>esponse <u>T</u>heory： 問題や受験者が異なる場合であっても、問題の難易度をものさしとして調査結果を比較可能にする理論（TOEFLや英検等で活用）</p> <p>※3 パネルデータ： 児童生徒一人一人の変化を継続的に把握する手法</p>				
（目的 対象 方法等）	<p>2 内容 ◎「IRT・パネルデータ」と「CBT」を組み合わせた学力・学習状況調査の実証研究 令和3年度から実施している実証研究^(※4)を継続して進めるとともに、令和5年度からの本格実施に向け、研究結果に基づく問題作成やCBTシステムの構築等を実施</p> <p>※4 ① IRTとパネルデータを組み合わせた学力・学習状況調査実証研究 児童生徒が学力の伸びを実感し学ぶ意欲を向上させるとともに、教員が客観的データに基づき効果的な指導・支援を行うことにより学力と非認知能力を向上させる研究</p> <p>② CBTシステム構築・活用実証研究 1人1台端末を用いて学力や学習状況を測定し、結果の早期活用と個に応じた指導の充実につなげるCBTシステムを構築する研究</p>				
担当課名	学校教育課 指導第1係	電話番号	075-414-5833		

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	令和の京都式教育指導体制推進費		新規・継続の別		一部新規	
			国庫	起債	その他	一般財源
予算額	4,084,239千円		1,132,315	—	—	2,951,924
事業内容	<p>1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させるとともに、新しい時代にふさわしい質の高い教育の実現を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 子どものための京都式少人数教育推進費（3,798,359千円） 児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を実現するため、市町村教育委員会や学校が、学校の実態や児童生徒の状況に応じた手法を選択して少人数教育を行えるよう、小学校で30人程度の学級編制、中学校で35人学級の解消が可能となる教員を配置 【詳細：資料－3－1】</p> <p>(2) 小学校教科担任制の推進（285,880千円） 予測困難な社会を生き抜く力として重要な外国語や理系教育の指導体制を強化するため、これまで配置している「英語専科教員」に加え、「理科」を中心とした専科教員を新たに配置 【詳細：資料－3－2】</p>					
担当課名	教職員人事課 学校教育課	人事係 指導第1係	電話番号	075-414-5799 075-414-5833		

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	令和の京都式教育指導体制推進費 (1) 子どものための京都式少人数教育推進費		新規・ 継続の別		継 続							
	国 庫	起 債	その他	一般財源								
予算額	3,798,359千円		1,049,465	—	—	2,748,894						
事業内容	<p>1 目 的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。</p> <p>2 内 容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費（3,525,966千円） ○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となる教員を配置 ○配置した定数を活用し、市町（組合）教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて以下から選択して実施</p> <table border="1" data-bbox="454 1041 1428 1249"> <tr> <td>少人数授業</td> <td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td> </tr> <tr> <td>チームティーチング</td> <td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td> </tr> <tr> <td>少人数学級</td> <td>市町村の判断により、基準を下回る人数での学級を編制</td> </tr> </table> <p>○中学校少人数教育推進費として、以下が可能となる教員を配置 ・全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ・英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実</p> <p>(2) 小学校低学年指導充実費（272,393千円） ○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用</p>						少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、基準を下回る人数での学級を編制
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開										
チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開											
少人数学級	市町村の判断により、基準を下回る人数での学級を編制											
（目的 対象 方法等）												
担当課名	教職員人事課 人事係 学校教育課 指導第1係		電話番号		075-414-5799 075-414-5833							

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	令和の京都式教育指導体制推進費 (2) 小学校教科担任制の推進		新規・ 継続の別	一部新規	
予算額	285,880千円	国庫	起債	その他	一般財源
		82,850	—	—	203,030
事業内容	<p>1 目的 小学校の教科担任制等を推進し、新しい時代にふさわしい質の高い教育の実現を図る。</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 小学校教科担任制の推進（73,000千円）新規 ○予測困難な社会を生き抜く力として重要な外国語や理系教育の指導体制を強化するため、理科を中心とした教科において、小中連携を含めた専科指導が可能となるよう教員を配置</p> <p>(2) 小学校英語教育推進教員の配置（212,880千円） ○小学校3～6年生の外国語活動及び外国語（英語）の授業において、専科指導が可能となるよう教員を配置し、小学校英語教育を推進</p>				
担当課名	教職員人事課 学校教育課	人事係 指導第1係	電話番号	075-414-5799 075-414-5833	

令和の京都式教育指導体制推進費

(凡例：★…各事項が対象とする学年)

事項	小学校						中学校		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
①子どものための京都式少人数教育推進費									
(1) 京の子ども・少人数教育推進費			★	★	★	★	★	★	★
(2) 小学校低学年指導充実費	★	★							
②小学校教科担任制の推進									
(1) 小学校教科担任制の推進					★	★			
(2) 小学校英語教育推進教員の配置			★	★	★	★			

資料-3-3

① (1) 京の子ども・少人数教育推進費

- ◆ 小3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置
- ◆ 以下3つから市町(組合)教育委員会が選択
 - 少人数授業**
子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導
 - ティームティーチング**
1クラスを2人の教員が協力して指導
 - 少人数学級**
基準を下回る人数で学級を編制

- ◆ 中学校少人数教育推進費として、以下が可能となる教員を配置
 - 全ての中学校で35人を超える学級規模の解消**
 - 又は
 - 英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実**

① (2) 小学校低学年指導充実事業費

- ◆ 授業等に集中できなかつたり、教員との関わりを強く求める小学1・2年生において、2人の教員による指導を実施

② (1) 小学校教科担任制の推進 新規

- ◆ 予測困難な社会を生き抜く力として重要な外国語や理系教育の指導体制を強化するため、理科を中心とした教科において、小中連携を含めた専科指導が可能となるよう教員の配置

② (2) 小学校英語教育推進教員の配置

- ◆ 小学校3～6年生の外国語活動及び外国語(英語)の授業において、専科指導が可能となるよう教員を配置し、小学校英語教育を推進

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	効果の上がる学力対策事業費		新規・継続の別		継続		
	国庫	起債	その他	一般財源			
予算額	65,397千円		18,494	—	—	46,903	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。						
	2 内容 (単位：千円)						
	事項		内容			事業費	
	小学生個別補充学習(ジュニア・わくわくスタ)		学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するための個別補充学習を実施(教科：国語、算数等)			20,897	
	中1振り返り集中学習「ふりスタ」		中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図るため、補充学習を実施(教科：国語、算数等)			19,000	
	中2学力アップ集中講座		中学2年生段階における基礎学力の定着と、発展学習のための集中学習を実施(教科：国語、数学等)			17,500	
	中学生読解力向上対策事業		「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施			1,000	
	学びの深化プロジェクト		学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進			7,000	
合計					65,397		
担当課名	学校教育課 指導第1係		電話番号	075-414-5833			

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	新しい学び総合推進事業費		新規・継続の別		継続		
	国庫	起債	その他	一般財源			
予算額	19,238千円		1,951	—	—	17,287	
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 社会の急激な変化や新学習指導要領に対応し、子どもたちが未来の創り手になるために必要な資質・能力を着実に身につけることができるよう、家庭や地域社会等と連携を図りながら総合的な施策を推進する。						
	2 内容 (単位：千円)						
	事項	内容				事業費	
	次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業	児童生徒の英語4技能をバランス良く育成するため、市町村や地元企業と連携し、小学校から高校までの一貫した英語教育を実施				800	
	未来を拓く学校づくり推進事業	「認知能力」と「非認知能力」をともにバランスよく育むため、プログラムの作成等の実践研究を府内中学校区で実施				2,000	
	PISA型読解力育成事業	子どもたちが将来どのような場面に直面したとしても発揮できるような、確かな読解力の育成に向けた実践研究を府内中学校で実施				1,000	
	課題解決型学習推進事業	子どもたちが「学び」と「社会」との接点を実感した上で学び続けるため、府内企業等とタイアップした課題解決型学習を府内中学校で実施				2,200	
	文化継承を目的とした地域創生事業	郷土学習を活用しながら社会参画意識を醸成させるため、地元の文化財を題材とした課題解決型学習を府内小学校で実施				3,000	
	豊かな学び・文化体験活動推進事業	大学と連携した体験授業や地域の伝統文化や古典に関する体験活動を実施				8,073	
	子どもの読書活動の推進	子ども読書本のしおりコンテストの実施				214	
小・中学校等における起業体験推進事業等	起業体験活動を自立して実施するモデルを構築するとともに、域内の学校に起業体験活動を普及				1,951		
合計					19,238		
担当課名	学校教育課 指導第1係 指導第2係 高校教育課 振興係 社会教育課 社会教育主事	電話番号		075-414-5833 075-414-5840 075-414-5859 075-414-5889			

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	京都グローバル人づくり事業費		新規・継続の別		継 続		
	国 庫	起 債	その他	一般財源			
予算額	457,545千円		61,250	—	—	396,295	
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 目 的 「聞く」、「話す」など、小・中・高校生の英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、高校生の海外留学支援などを通じて、多様な文化を理解し尊重する資質や能力を備え、国際社会で活躍できるグローバルな人材を育成する。						
	2 内 容 (単位：千円)						
	事 項		内 容			事業費	
	① 英語によるコミュニケーション能力の育成強化					421,780	
	小・中学校	小学校英語教育推進教員の配置	小学校3～6年生の外国語活動及び外国語（英語）の授業において、専科指導が可能となるよう教員を配置し、小学校英語教育を推進			212,880	
		英語4技能テストの実施	中学校2・3年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語指導に活用			2,000	
	高校	英語指導助手の配置	JETプログラムを活用し、全府立高校等に英語指導助手を配置			206,900	
	② 高校生の海外留学支援等					32,765	
	府立高校生グローバルチャレンジ事業		オーストラリアアデレード市語学研修（10人） 現地高校での授業受講等の短期留学に助成			2,000	
			英国エディンバラ市語学研修（5人） 友好提携を結ぶ同市での本格的な語学短期留学に助成			1,250	
海外短期留学チャレンジ（6人） 生徒が自主的に留学先を選び、海外で将来の夢の実現に向けた短期留学に助成			1,200				
学校主催の新しい留学プログラム開発研究のための留学に助成（40人）			2,400				
府立高校「海外サテライト校」事業		米・豪に2～4箇月程度の中期留学を実施（4人） 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保			4,130		
府立高校生ハイブリッド型留学事業		対面形式とオンライン形式のハイブリッドによる異文化理解と語学の研修を実施			20,000		

事業内容 （目的 対象 方法等）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府立高校生グローバル文化カフェ事業</td> <td>教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 （例）英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等</td> <td>1,785</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③教員の指導力強化</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>教員向け研修会の実施</td> <td>義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に合同での研修を実施</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table>			事項	内容	事業費	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 （例）英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	1,785	③教員の指導力強化		3,000	教員向け研修会の実施	義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に合同での研修を実施	3,000
	事項	内容	事業費												
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 （例）英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	1,785												
	③教員の指導力強化		3,000												
教員向け研修会の実施	義務教育段階での系統的な英語指導力の向上を図るため、小・中学校教員を対象に合同での研修を実施	3,000													
担当課名	教職員人事課 人事係 学校教育課 指導第1係 高校教育課 振興係	電話番号	075-414-5799 075-414-5833 075-414-5815												

資料-6-1

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校生夢チャレンジ留学支援事業費	新規・継続の別		継続					
		国庫	起債	その他	一般財源				
予算額	4,000千円	—	—	4,000	—				
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 目的 経済的に困難な状況にありながらも、将来の夢の実現にチャレンジする府立高校生を支援する。</p> <p>2 内容 低所得世帯の府立高校生を対象とした留学支援を実施</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>補助対象経費</th> <th>補助上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費</td> <td>1人当たり40万円</td> </tr> </tbody> </table>					補助対象経費	補助上限額	低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円
	補助対象経費	補助上限額							
低所得世帯の府立高校生が参加する留学への参加経費	1人当たり40万円								
担当課名	高校教育課 振興係	電話番号	075-414-5815						

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	確かな学力を身につけるための支援事業費		新規・継続の別		継続		
	国庫	起債	その他	一般財源			
予算額	42,925千円		—	—	—	42,925	
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、「確かな学力」の学習活動につながる取組を支援する。						
	2 内容 (単位：千円)						
	事項		内容			事業費	
	学力分析	学びの基礎診断	学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るため、学びの基礎診断の受検料を一部補助			35,542	
	学力向上	基礎学力補習	学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援			3,150	
		進路補習	生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援			2,538	
	大学連携教育プログラム		高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習活動を支援			281	
	大学生教育ボランティア活用事業		教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助として活用			1,414	
合計					42,925		
担当課名	高校教育課 振興係 指導第1係 指導第2係		電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852		

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	夢に応えられる府立高校づくり事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	71,905千円		18,245	—	—	53,660
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践により、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、希望進路の実現を図る。					
	2 内 容 （単位：千円）					
	事 項	内 容				事業費
	グローバルネットワーク京都	外国語教育に特色のある学校を対象に、国際社会に貢献できるリーダーを育成				6,073
	スーパーサイエンスネットワーク京都	理数教育に特色のある学校をネットワーク化しながら、独創的な科学研究ができる人材を育成				7,902
	スペシャリストネットワーク京都	職業学科設置校を対象に、現在の社会・経済構造の変化に対応する真のスペシャリストを育成				4,609
	京都フロンティア校	各校の特色に応じたテーマに基づく先進的な取組を推進				15,118
	コミュニティ・スクールの推進	高校における学校運営協議会制度の運営				3,992
	数学オリンピック等チャレンジ事業	数学・科学に対する興味・関心や数学的・科学的なものの見方や考え方を培うため、京都大学等と連携してコンテスト等を実施				2,174
	京都フレックス学園構想推進事業	府立清明・清新高校におけるきめ細やかな相談体制や支援体制を構築				17,981
WWLコンソーシアム構築支援事業	イノベティブでグローバルな人材を育成するための先進的なカリキュラムを開発・実践				10,828	
スーパーサイエンスハイスクール事業	先進的な理数系教育を実施するカリキュラムを開発・実践				3,228	
合 計					71,905	
担当課名	高校教育課 振興係 指導第1係 指導第2係 高校改革係	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852 075-414-5153			

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	明日の京都を担う高校生育成支援事業費		新規・継続の別		継 続	
	国 庫	起 債	その他	一般財源		
予算額	10,584千円		—	—	—	10,584
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 社会で生きていくために、すべての高校生が身につけておくべき考え方や知識の習得を支援し、社会の担い手として必要な「生きる力」の育成を図る。					
	2 内 容 (単位：千円)					
	事 項		内 容		事業費	
	高校生地域とつながる事業		府立高校生のボランティア活動、地域とつながり地域社会の活性化に貢献する取組を支援		2,415	
	主権者としての高校生育成支援事業		全府立高校において、模擬選挙等を実施し、有権者として必要な政治的教養の育成を図る。		1,825	
	わたしの未来づくり支援事業		職業体験などにより職業観を育成するとともに、働く上で必要な労働法規などの社会的知識の習得を図る。		3,617	
社会的素養育成支援事業		大学の研究者、専門性の高い職業人などの外部人材を活用し、生徒の学習意欲等の向上を図る。		2,727		
		合 計		10,584		
担当課名	高校教育課 振興係 指導第1係 指導第2係		電話番号		075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852	

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		新規・継続の別		継続	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	225,771千円		—	—	—	225,771
事業内容	<p>1 目的 小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備等を先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等</p> <p>2 内容</p> <p>(1) 教員配置 発達障害等により教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として配置</p> <p>(2) 配置効果 ○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保 ○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成・活用 ○一人一人の発達障害等の状況に応じた指導の推進</p>					
担当課名	教職員人事課 人事係 特別支援教育課 指導推進係		電話番号		075-414-5799 075-414-5835	

（目的
対象
方法等）

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	府立高校特別支援教育支援員配置事業費		新規・ 継続の別	継 続				
予算額	12,759千円	国 庫	起 債	その他	一般財源			
		—	—	—	12,759			
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 目 的 府立高校に在籍する発達障害等がある生徒への支援体制を整備し、府立高校における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>2 内 容 発達障害等のある生徒への支援体制の整備のため、府立高校特別支援教育支援員を配置する。</p>							
	<table border="1"> <tr> <td>配置形態</td> <td>府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】</td> </tr> <tr> <td>活用方法</td> <td>実習や授業における個別指導 複数の教員による指導（チームティーチング）</td> </tr> </table>					配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】	活用方法
配置形態	府立高校特別支援教育支援員 【非常勤講師4名程度】							
活用方法	実習や授業における個別指導 複数の教員による指導（チームティーチング）							
担当課名	教職員人事課 特別支援教育課 高校教育課	人事係 指導推進係 指導第1係	電話番号	075-414-5799 075-414-5835 075-414-5851				

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援学校職業教育等充実事業費		新規・継続の別		継続		
	国庫	起債	その他	一般財源			
予算額	22,479千円		960	—	—	21,519	
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 府立特別支援学校児童生徒の職業的自立を促進し、希望進路を実現するための職業教育及び就労支援の充実を図る。						
	2 内容 （単位：千円）						
	事項	内容				事業費	
	「ふれあい・心のステーション」事業	全府立特別支援学校が参加し、生徒自らが製作品の販売や実演を行い、府民との交流や企業への理解・啓発を図る (障害者雇用支援月間(9月)に開催)				3,076	
	京しごと技能検定の実施	外部機関等と連携した清掃や接客など4分野の技能検定試験の実施(4分野)				2,950	
	職業教育設備の整備	職業教育内容の充実に向けた作業学習用教材の新規・更新整備(木工・窯業機器等)				3,639	
高等部生徒の進路支援事業	進路担当教員が労働等関係機関と連携し、卒業後の進路決定に一層取り組めるよう非常勤講師を配置				12,814		
合計					22,479		
担当課名	教職員企画課 特別支援教育課	企画調整係 指導推進係	電話番号	075-414-5789 075-414-5835			

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費		新規・継続の別		継続	
	予算額	22,818千円	国庫	起債	その他	一般財源
			5,414	—	—	17,404
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 発達障害を含む障害のある子ども一人一人の教育ニーズに応じて、自立と社会参加を目指す一貫した特別支援教育を推進する。 特別支援学校における文化スポーツ活動やボランティア活動等を通して、共生社会の実現に向けた地域社会との交流及び理解啓発を推進する。					
	2 内容 (単位：千円)					
		事項	内容	事業費		
	地域支援	特別支援教育サポート拠点事業	特別支援教育の拠点となるスーパーサポートセンターにおいて、教員対象の専門的研修や専門家チーム(医師、作業療法士等)による教育相談・支援等を実施	3,828		
		地域等連携推進事業	全特別支援学校に設置する地域支援センターにおいて、専任コーディネーターや巡回相談支援チーム(校医、地域福祉関係者、小中学校教員等)による教育相談・支援を府内各地で実施	3,041		
	研究	特別支援教育実践研究事業	特別支援教育の推進に係る実践研究	3,600		
	特別支援学校	文化スポーツ交流事業	児童生徒による芸術発表やスポーツ交流会等を通して、文化芸術及びスポーツに直接親しむ機会を創出するとともに、地域社会との交流を行う。	3,928		
		ボランティア活動推進事業	大学生教育ボランティアの受入れ	280		
		医療的ケア体制充実事業	特別支援学校における安心・安全な医療的ケア実施体制を整備するため、医療機関等と連携した喀痰吸引等研修の開催や運営組織を設置	3,741		
		コミュニティ・スクールの運営	特別支援学校での学校運営協議会制度の運営	1,400		
高校	高等学校における特別支援教育の充実	聴覚障害のある生徒に対して学習補助システムを活用した授業を実施	3,000			
担当課名	特別支援教育課 高校教育課	指導推進係 指導第1係	電話番号	075-414-5835 075-414-5851		

令和4年度当初予算案主要事項（令和3年度2月補正含む）説明

健康福祉部・教育委員会

事業名	医療的ケア児支援強化事業費		新規・継続の別		新規										
	国庫	起債	その他	一般財源											
予算額	54,000千円		23,393	—	—	30,607									
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 医療的ケア児及びその家族への負担軽減のため、医療的ケア児等支援センターの設置や府立特別支援学校における通学時の支援を実施</p> <p>2 事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療的ケア児等支援体制整備事業費 (①)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府医療的ケア児支援センター（仮称）を設置し、医療的ケア児や家族等からの相談に対して看護職等が助言・支援を実施 ・府内医療的ケア児の実態調査による情報集約 ・医療的ケア児コーディネータに対する医療機関等での実務研修や症例検討会を実施 </td> <td>16,000</td> </tr> <tr> <td>特別支援学校医療的ケア安心サポート事業費 (②)</td> <td>府立特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒の通学時の安全を確保するため、福祉タクシーの利用に対する助成や看護師配置等に要する支援を実施</td> <td>38,000</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	予算額	医療的ケア児等支援体制整備事業費 (①)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府医療的ケア児支援センター（仮称）を設置し、医療的ケア児や家族等からの相談に対して看護職等が助言・支援を実施 ・府内医療的ケア児の実態調査による情報集約 ・医療的ケア児コーディネータに対する医療機関等での実務研修や症例検討会を実施 	16,000	特別支援学校医療的ケア安心サポート事業費 (②)	府立特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒の通学時の安全を確保するため、福祉タクシーの利用に対する助成や看護師配置等に要する支援を実施	38,000
	区 分	内 容	予算額												
	医療的ケア児等支援体制整備事業費 (①)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府医療的ケア児支援センター（仮称）を設置し、医療的ケア児や家族等からの相談に対して看護職等が助言・支援を実施 ・府内医療的ケア児の実態調査による情報集約 ・医療的ケア児コーディネータに対する医療機関等での実務研修や症例検討会を実施 	16,000												
特別支援学校医療的ケア安心サポート事業費 (②)	府立特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒の通学時の安全を確保するため、福祉タクシーの利用に対する助成や看護師配置等に要する支援を実施	38,000													
担当課名	①障害者支援課 ②特別支援教育課	福祉サービス・ 障害児支援係 指導推進係	電話番号	075-414-4633 075-414-5835											